

2026 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノクリエイティブ
(コード番号 9335 TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役 CEO 三嶋 一秀
問 合 せ 先 取締役 CFO 松田 英明
T E L 096-386-2360
U R L <https://www.techno-creative.co.jp/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

株式会社東京証券取引所が 2026 年 4 月 3 日付で公表した「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的、その実現状況および今後の取り組みについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、「知恵と創造力により人に感動を与える企業」という経営理念のもと、システムインテグレーション事業（IT 領域）およびエンジニアリング事業（製造領域）を両輪として展開しております。

事業の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るにあたり、以下の 3 点を主な目的として、2022 年 11 月 18 日に TOKYO PRO Market へ上場いたしました。

(1) 事業面：信用力向上による事業基盤の強化と成長投資の推進

上場による社会的認知度および信用力の向上を通じて、顧客基盤の拡充および大手企業との直接受注拡大および取引深化を推進すること。併せて、社会的信用を背景とした機動的な資金調達手段の確保および将来的な戦略的 M&A の推進を目的としております。

(2) 人材採用・組織面：優秀な人材の採用強化とエンゲージメント向上

上場企業としてのブランド力と安心感を訴求することで、成長を支える IT・製造両領域の高度専門エンジニアおよびマネジメント人材の採用力を強化すること。また、社内規程・評価制度の整備を進め、従業員が長期にわたり安心して働き続けられる労働環境を確立し、定着率向上を目指すことを目的としております。

(3) 経営管理・ガバナンス面：透明性の高い経営管理体制の構築

コンプライアンス体制および内部統制システムの整備を通じて、属人的経営から組織的・制度的経営へ移行すること。将来的な一般市場への市場区分変更を見据え、透明性と実効性を両立した経営管理体制を構築することを目的としております。

2. 上場目的の実現状況

上場以降、当社は各目的に沿った取り組みを着実に推進しており、現時点における実現状況は以下のとおりです。

(1) 事業面に関する実現状況

①信用力向上による取引拡大

上場により社会的信用を確立したことで、大手企業からの直接受注拡大および新規商談の獲得が円滑化しております。直近年度においては、主要取引先より当社自社工場への大型外製化案件を受注するなど、具体的な業績貢献に結びついております。

②地域基盤の強化と機動的投資

福岡証券取引所 Fukuoka PRO Market への重複上場を通じて、主要事業地域である九州圏での知名度と信用力を一層強固なものといいたしました。現在は各地サービス拠点の最適化および新製造拠点の開設を推進し、中長期的成長を見据えた機動的な設備・事業投資を実行しております。

(2) 人材採用・組織面に関する実現状況

①専門人材の採用強化

上場企業としての知名度向上により採用候補者からの関心が高まり、新卒採用をはじめとする IT・製造領域の高度専門エンジニアおよびマネジメント人材の確保において着実な成果が得られております。

②定着率およびエンゲージメントの向上

社内規程の再整備や人事施策の推進を通じ、従業員の経営に対する信頼と安心感が醸成されております。その結果、平均勤続年数は上場時（2022 年 11 月 18 日時点）の 3.1 年（2021 年 9 月期 発行者情報）から、直近（2026 年 3 月 31 日時点）では 4.6 年（2026 年 9 月期 中間発行者情報）へと伸長しており、定着率向上および組織エンゲージメントの強化において定量的な成果が表れております。

(3) 経営管理・ガバナンス面に関する実現状況

①組織的経営と J-SOX 体制の構築

取締役会をはじめとする各種会議体の適切な運営と、職務権限および稟議決裁フローの厳格化を通じて、透明性の高い組織的経営を実践しております。現在は将来の一般市場への市場区分変更を見据え、J-SOX 構築プロジェクトを計画通り推進しております。

②資本市場との対話推進およびファイナンス方針

なお、エクイティ・ファイナンスにつきましては、市場における株式流動性の確保および適正な株価形成の観点から、市場環境や株価推移を慎重に見極めつつ、最適な実施時期を精査しております。今後は自社 Web サイト等を通じた IR 情報の拡充ならびに投資家との対話機会の創出を図り、株式流動性の向上と資本市場からの信認獲得に努めてまいります。

3. 今後の取り組みおよび市場区分変更に向けた方針

当社は、持続的な企業価値の向上と社会への貢献を果たすため、将来的な一般市場への市場区分変更を明確な目標として掲げております。現在、J-SOX 体制構築をはじめとする各種施策を計画通り推進しており、今後もその実現に向けて以下の3施策を重点的に推進してまいります。

(1) コーポレート・ガバナンスの高度化

J-SOX 体制の完全運用確立および内部統制の実効性向上を進め、一般市場上場基準に適合する透明性の高いガバナンス・管理体制を構築します。

(2) IR 活動の強化と株式流動性の創出

将来の一般市場への市場区分変更時に適正な株価形成および株式流動性が確保された状態で移行できるよう、IR の拡充を通じた積極的な情報発信と対話機会の創出に今から取り組んでまいります。

(3) 事業構造の高度化による収益力の強化

IT・製造両領域の高度専門エンジニアおよびマネジメント人材の稼働率向上および高付加価値案件へのシフトを進め、持続的な業績拡大を実現することで、株主・取引先・従業員をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいります。

※本資料は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績および各種施策の達成を確約するものではありません。

以 上